

共家事・ラク家事促進によるゆとり時間創出事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等	[第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト]						
[解決すべき問題・課題] 本県は、女性の共働き率(61.2%全国1位)が高く、働く女性が多い一方で、家事等の負担は、女性に偏っており、女性が管理職を目指す障壁にもなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化(R2男女共同参画県民意識調査) ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性:30.3% 男性:16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性:24.4% 男性:10.3%						
[事業目的] 共家事に加え、家事の省力化、外部化による「ラク家事」についても促進し、自分時間や家族時間などの「ゆとり時間」を創出するという前向きなイメージを打ち出し、女性の自己実現が叶う基盤を整え、女性活躍を加速させる												
[事業内容] (1)「ゆとり時間」創出に向けた広報PRの実施 ①PR動画による発信 「共家事×ラク家事」というコンセプトを基に、「ゆとり時間を生み出し、ゆとりを楽しもう」という考え方を発信する。 ②ゆとり時間創出アイデアコンテストの開催 他県と連携し、家事を含めた生活の中での時短テクニックをコンテスト形式で募集し、優秀事例等をサイト等に掲載。 (2)株式会社CaSyとの連携による「ゆとり時間創出」に向けた具体的アプローチの提示 ①家事タイプ診断ページの作成。 ②啓発セミナーの開催。 (3)システム利用モニターキャンペーンの実施 「家事時間ダイエットキャンペーン」と称して、システムの診断結果に基づき、外部サービスを実際に利用 モニター案:共働き夫婦、子育て世代の家族など50名												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 共家事促進事業 (実績) 「共家事」促進イベント実施企業 10社					関連事業の有無・役割分担	□ 有 事業名 ■ 無 (役割分担)					
市町との連携状況	「共家事」を促進するため、各市町男女共同参画担当課にポスター、ハンドブック設置、HP掲載など広報を依頼					他県の状況	富山県「家事・育児シェアリングプロジェクト」 兵庫県「とも家事」 栃木県「トモ家事」					

共家事・ラク家事促進によるゆとり時間創出事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	直営、委託					R7 年度						
補助率	—					経過年数 1 年						
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,957	2,478			2,479	地域女性活躍推進交付金 新しい地方経済・生活環境創生交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							4,957					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	女性のゆとり時間	(目標) 実績					-	-	(4時間45分)	社会生活基本調査(5年に一度)、人口減少対策プロジェクト ※次回の数値公表は令和8年度 ※前回(令和3年度)は4時間19分		
活動指標	家事診断システムモニター数	(目標) 実績					(50)	(50)	(100)	チェックリストを活用したキャンペーンの応募者数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

企業における女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト]					
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						[問題・課題を表す客観的データ] 女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%)(令和2年度国勢調査)						
[事業目的] 女性の採用・育成・登用など、女性活躍に積極的に取り組む企業「ふくい女性活躍推進企業」の女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を後押しし、県内企業における女性活躍の推進を図る。												
[事業内容] (1)女性登用に取り組む企業へのインセンティブ強化 企業顕彰や奨励金、人材確保支援により、女性登用に取り組む動機づけを強化 (2)女性登用に取り組む企業の伴走支援の強化 女性活躍推進コンシェルジュを中心としたアプローチを強化するとともに、業界団体・組合への働きかけを強化 (3)企業・団体への女性登用の働きかけおよび企業の女性活躍にかかる優良な取組みの発信 企業・団体のトップに対する女性登用の働きかけ 働く女性の職場づくりなど特に優れた活動を実施する企業および従業員の表彰・発信 (4)職場におけるアンコンシャス・バイアス対策 経営者・管理職向け、一般職、総務・人事担当者向けに研修を実施												
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	「ふくい女性活躍推進企業」への登録促進					他県の状況	○全国順位等(※R2国勢調査より) ・女性の就業率 55.6% (全国 2位) ・共働き率 61.2% (全国 1位) ・女性の管理職比率 13.5% (全国41位)					

企業における女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	23,261	8,137				15,124	地域女性活躍推進交付金(内閣府)					
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			6,894	2,390	16,048	29,669	23,261	・事業見直しによる減				
2月現計予算額の推移			6,894	2,390	16,048	28,683						
決算額の推移			6,839	2,371	14,308							
前年度までの 主な増減理由	R2:女性活躍プロジェクトチーム支援事業補助金の廃止 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」制度の新設 R3:県内企業における女性の管理職登用加速に関する事業を実施 R4:女性活躍推進コンサルタント事業の終了 R5:「女性管理職登用加速事業」の統合、ふくい女性活躍推進フォーラムの開催 R6:顕彰制度および奨励金制度の創設、企業への伴走支援強化によるの増											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	県内企業の女性管理職の割合(福井県勤労者就業環境基礎調査)	(目標) 実績	20.0%	18.6%	17.2%			(20.0%)	(20.0%)	令和8年度末:20% (人口減少対策プロジェクト、第4次福井県男女共同参画計画) ※年度ごとの成果指標の目標は設定していない		
活動指標	ふくい女性活躍推進企業登録数	(目標) 実績	(300) 308	(330) 339	(360) 432	(400)	(850)	(850)	(850)	チャレンジ2025における目標値		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価				
【活動指標】目標達成 ・「ふくい女性活躍推進企業」新規登録298件(計730社) ※2月末時点の実績 【成果指標】令和8年度末の20%達成に向け下記の取組みを実施 ・「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」など優良事例の発信 ・コンシェルジュの企業訪問や女性登用ロードマップの作成			引き続き、「ふくい女性活躍推進企業」制度を運用し、女性活躍を推進する企業を増加させていくとともに、女性管理職登用を進める企業へのインセンティブや伴走支援を強化することにより、経営者の意識改革および企業内での女性のキャリアアップを促進					■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託				事務区分			<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数			
補助率	—					<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> その他	6 年			
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野〔 1 個性を伸ばす(人材力) 〕 政策〔 3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実〕					関連する県の計画等						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいため、昇進が躊躇われると考えている人が多い						女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%)(令和2年度国勢調査) 役職へ就くことへの不安を感じる40.7% (R元年福井県女性の人生選択と自己実現に関する調査 お茶の水女子大学と福井県の共同研究)						
[事業目的]												
お茶の水女子大学と共同作成・実施する本県女性のためのリーダー育成研修プログラム「ハッピーキャリア縁カレッジ」を実施し、女性リーダーおよび管理職の出やすい社会づくりを推進する。												
[事業内容]												
(1)管理職育成コースの実施(約10か月間継続受講、約20名受講) 〔対 象〕県内企業・団体勤務する女性管理職(課長以上)候補女性 〔内 容〕① ロールモデル等交流実践講座 ② お茶の水女子大学連携講座 ③ Rintoss講座 ④ リフレクション(内省)研修 ⑤ スポンサーシップ実践講座 ⑥ リーダーシップ実践講座 ⑦ お茶の水女子大学公開講座聴講、交流会 ⑧ お茶の水女子大学ビジネススクール「微音塾」受講 ⑨ アラカルト講座(女性財団が運営する講座を選択して受講)												
(2)リーダー育成コースの実施(約10か月間継続受講、約40名受講) 〔対 象〕県内企業・団体勤務する女性リーダー(係長等)候補女性 〔内 容〕管理職育成コース①②④⑤⑦および⑧「ものづくりスキルアップ講座」を受講												
(3)女性活躍スタートコース(1講座単位で受講、約300名受講) 〔対 象〕県内企業・団体に勤務する方 300名程度(男性も受講可能) 〔内 容〕管理職育成コース②およびリーダー育成コース⑧の講座および女性財団が運営する講座を受講												
(4)北陸三県が各々独自に実施するリーダー研修受講者同士の交流の実施 上司・部下のトリセツ講座の実施 〔対 象〕県内企業団体に勤務する 〔内 容〕リーダーを目指す女性だけではなく、その上司もコミュニケーション手法などを学ぶ												
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 働く女性の活躍支援事業 (実績) 平成24年度から事業を開始し、142の企業・団体から263名の女性が参加。受講生の中から83人が管理職やリーダーに登用					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	「ハッピーキャリア縁カレッジ」への参加促進					他県の状況		・富山県(煌めく女性リーダー塾) ・石川県(女性人材育成プログラム) ・愛知県(女性エンパワーメント支援事業) ・福岡県(ウイメンズ・ビジネス・キャンプ) 他				

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,487	4,743			4,744	新しい地方経済・生活環境創生交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,426	4,991	7,275	7,760	9,487	北陸3県のリーダー研修受講者の交流および 上司・部下のトリセツ講座の拡充による増					
2月現計予算額の推移		3,082	4,991	7,275	7,760							
決算額の推移		3,035	4,966	6,598								
前年度までの 主な増減理由	R4:管理職育成コースの追加およびそれに伴う講座の拡充 1講座単位で受講可能な推進コースの追加 R5:お茶の水女子大学との連携講座の拡充 ロールモデル交流実践講座の拡充 R6:研修OG、第一線で活躍する女性役員や企業経営者との交流や、実践的なビジネススキルを学ぶ Rintoss講座などのプログラム拡充、NEXTリーダーコース創設による増											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者の満足度	(目標) (80%) 実績 95.7%	(80%) 95.2%	(80%) 97.7%	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	受講者アンケートでの参加者の満足度 (大変満足、満足と回答した受講生の割合、3月にアンケート実施)			
活動指標	受講者数	(目標) 実績 301	(300) 313	(300) 313	(360) 381	(360)	(360)	管理職育成コース、リーダー育成コース、NEXTリーダーコース、トライアルコースの受講者合計 4年度から研修の方式を変更したため、活動指標を変更				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【活動指標】目標達成 ・管理職育成コース 20名 リーダー育成コース 40名 ・NEXTリーダーコース 48名 トライアルコース 273名 【成果指標】 ・3月に実施するアンケート調査により評価				女性部下と男性上司を対象にしたトリセツ講座や北陸3県の リーダー講座受講生による交流の実施を充実				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

女性のチャレンジ応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト]					
[解決すべき問題・課題] 女性のライフイベントを契機とした非正規雇用化・L字カーブ対策など。						[問題・課題を表す客観的データ] 産業支援センターでの起業相談数(R4 8.7%(69件中、女性相談6件))						
[事業目的] 女性は出産・育児等のライフイベントを機にやむを得ず離職するまたは正規から非正規へと働き方を変えるケースがあるが、それらもチャレンジの機会と捉え、女性の自己実現やレベルアップが図れるよう、多様な選択肢が用意されている環境をつくる。												
[事業内容] (1) 専門家による総合的な相談対応 ふくい女性活躍支援センターに専門家を配置し、ふくい産業支援センターや商工会議所・商工会と連携して具体的なアドバイスを実施 ふくいウイメンズ・オアシスにおいて創業・起業をテーマにピアサポートサロンを開催し、女性同士のコミュニティづくりをサポート (2) 「ふくい女性のチャレンジ賞」のすそ野の拡大 表彰人数を拡大し、従来光が当たりづらかった業界で活躍する女性にもすそ野を拡大 (3) ネット記事を活用した県内の多様な女性ロールモデルの発信 「ふくい女性のチャレンジ賞」の受賞者やインターンシップ生等をWebメディアで発信												
[受益者] 福井県内の女性						[想定される受益者数] 37万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	男女共同参画市町課長会議・担当者会議を通じた呼びかけ					他県の状況						

女性のチャレンジ応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,153	1,469			1,684	地域女性活躍推進交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					3,664	3,153	他の起業・創業関連事業への統合による減					
2月現計予算額の推移					3,554							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	総合相談窓口を通じた創業・起業数 (目標) 実績				(5)	(5)						
活動指標	総合相談窓口における相談件数 (目標) 実績				(36)	(36)			3回/月×12月=36回相談会を実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【活動指標】目標達成(見込み) ・相談件数:2月末時点で35回				個別の相談や継続的なフォローアップ、連携機関や産業労働部の施策・イベントに関する情報の提供など、起業前段階における情報の整理・提供、よりチャレンジを後押しする環境構築を強化				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
【成果指標】目標未達成(見込み) ・2月末時点で創業・起業数0件								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	511	
【事業による要因】実際にまだどのようなことがやりたいか、できるかといった段階での相談が多数であり、実際の創業・企業まで至ることが困難								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

“女性活躍”から社会を変えるプロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美		
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 政策〔		1 個性を伸ばす(人材力) 3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			関連する県の計画等							〔 第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト 〕
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%)(令和2年度国勢調査)							
[事業目的]													
社会全体に固定的な「性別役割分担意識」や無意識の思い込み「アンコンシャス・バイアス」に気づき、解消していくことにより、女性をはじめ県民一人ひとりが平等に生き生きと活躍できる社会づくりを推進する。また、他の「しあわせ」に触れる機会の提供やロールモデルの発信等により、女性の「つながり」づくりをサポートする。													
[事業内容]													
<p>(1)アンコンシャス・バイアスに関する県民意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町との連携、SNSや動画を活用した県民参加型のキャンペーンを実施 ・アンコンシャス・バイアスに関する項目を入れてアンケート調査を実施し、アンコンを可視化 <p>(2)県内における「地域」向けの役割分担意識に気づくためのセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長などを対象としたジェンダーギャップ解消に向けたセミナーを開催 <p>(3)階層別「職場」の「アンコンシャス・バイアス」解消研修の実施</p> <p>女性活躍推進企業を対象に、職場で「アンコン」対策に取り組む必要性を啓発し、階層ごとに「アンコン研修」を実施 (実施方法)オンライン研修[2コース(①社員向け ②管理職・経営者向け ③総務・人事担当者向け)]</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担				■ 無 □ 有 (役割分担)	事業名		
市町との連携状況		男女共同参画市町課長会議・担当者会議を通じた呼びかけ				他県の状況							○全国順位等(※R2国勢調査より) ・女性の就業率 55.6% (全国2位) ・共働き率 61.2% (全国1位) ・女性の管理職比率 13.5% (全国41位)

“女性活躍”から社会を変えるプロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託									R6 年度		
補助率	—									経過年数 2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,563	2,009			7,554	地域女性活躍推進交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						10,583	9,563	事業内容の見直しに伴う減				
2月現計予算額の推移						10,263						
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	性別役割分担に賛成する割合(※長期ビジョンアンケート)	(目標) 実績				(20.0%) 17.4%	(16%未満)	(16%未満)	(14%未満)	人口減少対策プロジェクトにおける目標値 ※福井県長期ビジョンに関するアンケート「あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思われますか。」令和8年度末:14%未満		
活動指標	セミナー参加者	(目標) 実績					(30)	(30)	(30)	15名×2回開催		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【活動指標】目標未達成 ・アンコンシャスバイアスに関するワークショップ等の開催 参加者数 40名 ※R6年度の活動指標(ワークショップ参加者90名)は達成。R7からは事業内容の変更に伴い活動指標を変更				引き続き、県民の方への働きかけを行うため、県民意識啓発の取組みを実施するとともに、地域や企業を対象にした個々の課題に応じた取組みを展開				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
【成果指標】目標達成 ・17.4%(前年比△5.9%)								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ふくい女性つながりサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に孤立・孤独を抱える女性が増加し、自殺者DV相談件数も増加している。						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化(R2男女共同参画県民意識調査) ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性:30.3% 男性:16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性:24.4% 男性:10.3%						
[事業目的] 仕事や子育て、心や身体など、女性が抱える様々な不安や悩みに寄り添い、支援を必要としている方に対して、きめ細やかな支援を実施												
[事業内容] (1)女性の悩みや不安を知る講座の開催 令和3年度開始のピアサポートサロンで見えてきた長引くコロナ禍での女性の不安や悩みについて、一般の方や県内企業の方に現状を紹介し、当事者に対する理解や当事者を取り巻く社会環境の改善を促すことを目的とした専門家による講座を開催 (2)「わたしの時間」の開催 「ふくいウイメンズ・オアシス」を開放し、悩みや不安を抱える女性が自由に過ごして、つながりを見つけほっとできる時間と場所を提供 必要に応じ専門の相談窓口につなげて様々な悩みへの支援を強化 (3)ピアサポートサロンの開催 生活学習館2階に設置する「ふくいウイメンズ・オアシス」において、テーマを設定したピアサポートサロンを開催 (4)女性活躍支援センター出張相談の実施 遠方により出向くことができない相談者に対して支援ができるよう、サテライト相談窓口を設置 (5)生理用品の提供 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困窮している方に対して、生理用品の提供を実施(併せて県内の相談窓口を周知)												
[受益者] 福井県内の女性						[想定される受益者数] 37万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい女性つながりサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	9,621	7,215			2,406	地域女性活躍推進交付金(内閣府)								
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		10,360	9,700	8,583	8,856	9,621	委託先職員の人件費見直しによる増							
2月現計予算額の推移		10,360	9,700	8,583	9,310									
決算額の推移		9,926	9,122	8,715										
前年度までの 主な増減理由	R4:国補正予算を活用し、R3.2月補正予算において前倒し(9,700千円) 明許繰越 R5:ピアサポートサロンの回数見直し													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ピアサポートサロンに参加 して前向きになったと回答 した割合 (目標) 実績	(50.0%) 57.4%	(50.0%) 59.3%	(50.0%) 62.6%	(50.0%)	(50.0%)	—	—	参加者アンケート結果					
活動指標	ピアサポートサロンの開催 回数 (目標) 実績	(30) 34	(80) 116	(96) 117	(120)	(120)	—	—	ピアサポートサロンの開催数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
【活動指標】目標達成(見込み) ・1月末時点で103回開催しており、目標を達成する見込み 【成果指標】目標達成(見込み) ・1月末時点で約60%が「前向きになった」と回答				ピアサポーター登録数を増やし、様々な悩みに寄り添ったサ ロンを開催。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

第5次福井県男女共同参画計画策定準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自 治 事 務 □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政 策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／人口減少対策プロジェクト]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
第4次福井県男女共同参画計画の完了に伴う第5次福井県男女共同参画計画の策定												
[事業目的]												
第5次男女共同参画計画の策定												
[事業内容]												
<p>①県民意識調査の実施 お茶の水女子大学と連携し、県民の方個人に対する男女共同参画に関する意識調査を実施する</p> <p>②企業調査 県内企業を対象に、男女共同参画に関する意識調査を実施する</p>												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名						
市町との連携状況						関連事業の有無・役割分担						
						他県の状況						

第5次福井県男女共同参画計画策定準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,257	871			5,386	地域女性活躍推進交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						6,257						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	第5次福井県男女共同計画 の作成 (目標) 実績							(1)	令和8年度に第5次福井県男女共同参画計画を策定			
活動指標	アンケート調査の実施 (目標) 実績					(2)			県民意識調査の実施 企業調査の実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		